

「衛星データを活用した農地特性評価と栽培適地選択」の概要

2019 年 4 月 12 日

チーム天地人 (tenchijinspace@gmail.com)

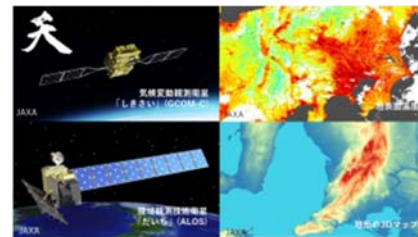
1. これまでの経緯と S booster2018 後の進捗

天地人は 2017 年より 2 年間にわたる活動を通して、ビジネスモデルを磨き上げてきました。

- 2017 年春: 桜庭 (SenSprout)、繁田 (東大)、百束 (JAXA) のコアメンバーが集い、衛星データ × 農業の勉強会を開始。
- 2017 年秋: S booster2017 ファイナリストとなるが、受賞を逃す。
- 2018 年 11 月 19 日: S Booster2018 に再挑戦。審査員特別賞、ANA ホールディングス賞、JAL 賞をトリプル受賞。
- 2018 年 11 月、12 月: ANA ホールディング社、JAL 社それぞれと意見交換会を実施。
- 2019 年 1 月～現在: 事業拡大を目指す農業法人に対して農地特性評価サービスを行うべく、システム設計を実施中。また、ユーザーとなり得る 高付加価値作物に特化した農業法人との連携について調整中。



受賞式の様子



天地人の「天」は衛星データ

2. 国内農業の課題

国内農業においては大きく 3 つの課題が存在します。第一に、担い手不足の問題です。農業人口の高齢化は深刻で家族経営の個人農家は持続不可能になりつつあります。第二に 耕作放棄地の問題です。管理できなくなった土地は次々と放棄地となってしまっています。最後に 分散した農地の問題です。散発的な土地では大規模化の恩恵が得られないため、収益化のためには付加価値の高い作物を作る必要があります。

3. 天地人のビジョン

天地人は人工衛星による広域かつ高分解能な気象情報・地形情報等のリモートセンシングデータを活用した、革新的な農地特性評価サービスを提供します。天地人による農地特性評価サービスは、いわば「ポテンシャル名産地」の発掘です。従来作り続けてきた作物からの脱却、あるいはこれまで耕作放棄地となっていた場所の中から、高付加価値な作物に適したポテンシャル名産地を見つけ出すことで、国内農業の抱える課題解決を目指します。

以上